

小河久朗*・町田益己**： 牡鹿半島海藻雑記 II. ハネモ類 Hisao OGAWA and Masumi MACHIDA: Notes on some marine algae from the Oshika Peninsula II. *Bryopsis* species

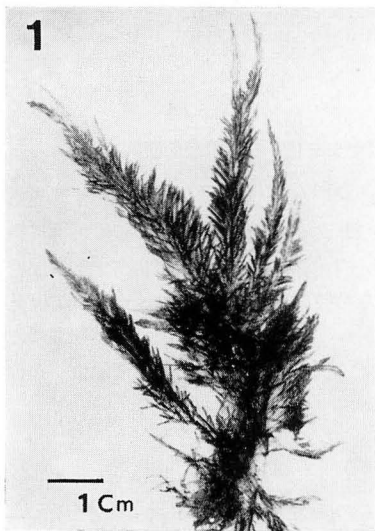
牡鹿半島周辺は親潮・黒潮2大海流の影響をうけるため寒海産、暖海産の海藻が混生・繁茂している。これら海藻のうち、暖海産と考えられる緑藻の一つハネモ属植物のハネモ *Bryopsis plumosa* (HUD.) C. AGARDH, オバナハネモ *B. hypnoides* LAMOUROUX, オオハネモ *B. maxima* OKAMURA の3種が1975年~1977年にかけての我々の調査で本半島からみつかった。これら3種についてその生育場所・時期を報告する。

ハネモ、オバナハネモは毎年夏季6~9月にかけて塚浜、小屋取、新山浜、鯨島 (Fig. 1) でみられる。これら2種は共に潮間帯の潮溜り、岩かげ等に生育し、混生している。一方、オオハネモは11月から翌年3月にかけて塚浜 (Fig. 1) でみられ、上記2種と同じような場所に生育している。

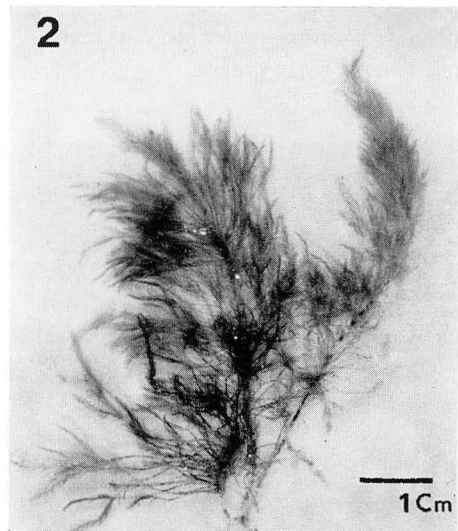
これまで福島県塩屋崎以北の太平洋沿岸からはオバナハネモ、オオハネモは報告されていない。その理由として、とくにオオハネモはその繁茂期が当地方では海藻採集が一般的でない冬季であるため、今まで見落されてきたのであろう。(*980 仙台市堤通雨宮町1-1 東北大学農学部水産学科, **431-02 静岡県浜名郡舞坂町弁天島 3550 静岡県水産試験場浜名湖分場)



Fig. 1. Map of the Oshika Peninsula. Numbers refer to collection sites as follows: 1. Tsukahama, 2. Koyatori, 3. Niiyamahama, 4. Same-Jima.



1: *Bryopsis maxima*



2: *B. hypnoides*